

議 会 運 営 委 員 会

日 時：平成 2 1 年 5 月 1 9 日（火）

相模原市議会

議 会 運 営 委 員 会 会 議 録		
平成 2 1 年 5 月 1 9 日		開 会
		午前 1 0 時 3 0 分
		閉 会
		午後 5 時 4 2 分
出席者	委員	加 藤 明 徳 古 内 明 森 繁 之 東 條 恵美子 △米 山 定 克 阿 部 善 博 中 村 昌 治 小 池 義 和 大 沢 洋 子 ○岸 浪 孝 志 藤 井 克 彦
	議員	な し
欠席者	な し	
説明のため出席者	な し	
事務局職員	今田議会事務局長 佐藤議事調査課長 河本同課議事班担当課長 佐藤同課同班主幹 今村同課同班主幹 小宮同課同班主幹 八木同課調査班担当課長 田中庶務課長	

協 議 事 項	平成 2 1 年相模原市議会 5 月臨時会の運営について
傍 聴 者	なし
署 名	委員長 岸 浪 孝 志

午前10時30分 開会

○岸浪委員長 ただいまから議会運営委員会を開会する。

出席委員は11名で定足数に達している。

お諮りする。本日の委員会傍聴を許可することに異議ないか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

○岸浪委員長 異議ないので、これを許可する。

これより審査に入る。

—————◇○◇—————

平成21年相模原市議会5月臨時会の運営について

○岸浪委員長 5月臨時会の運営について、昨日に引き続き、協議をお願いします。

昨日、西農業委員会まで協議して、同意してもらった。

きょうは、常任委員会、特別委員会の構成、附属機関等の協議に行くが、常任委員会、特別委員会の各会派の要求ポストの見直し作業から入っていきたいと思う。

新政クラブ。

○阿部委員 新政クラブは、要求しているとおり、変更なしでお願いします。

○岸浪委員長 民主クラブ。

○小池委員 昨日、いろいろ確認されたことがあるが、うちとしては、無所属クラブあるいは公明党に監査を辞退してもらって、監査をもらった経緯がある。うちも農業委員会をおりたという結果はあるが、議長、副議長が決まらない中で配慮してもらったということで、常任委員会については、調整次第で、ざっくばらんに、やれと言ってもらえれば甘んじて受けるつもりだが、現段階では要望はない。

○岸浪委員長 公明党。

○加藤委員 私どもは、新たに建設委員会の副を希望したい。あとは変更はない。

○岸浪委員長 無所属クラブ。

○東條委員 うちは、水源地域の正を消して、あとはそのまま、民

生の副。

○岸浪委員長 市民連合。

○森委員 私どもは、今のところ変更はないが、調整の中で、また話があれば、いつでも応じる覚悟でいるので、とりあえず、現状のままである。

○岸浪委員長 共産党。

○藤井委員 変更なく、ぜひ、お願いしたいという気持ちである。

○岸浪委員長 創史会。

○古内委員 うちは、きのう、公明党に配慮してもらって西農業委員会をとらせてもらったということで、公明党と競合していた環境経済委員会と政令指定都市に関する特別委員会をおりる。

○岸浪委員長 事務局から読み上げてもらう。

○小宮議事調査課主幹 総務委員会の正が新政クラブ、副が日本共産党、創史会。民生委員会の副が新政クラブ、無所属クラブ、創史会。環境経済委員会の正が公明党、副が市民連合。建設委員会の正が新政クラブ、副が公明党。文教委員会の正が新政クラブ、副が市民連合。

基地対策特別委員会の正が新政クラブと創史会、副が日本共産党。交通問題特別委員会の正が日本共産党、副が市民連合。産業集積対策特別委員会の正が公明党、副が市民連合。水源地域対策特別委員会の正が民主クラブと創史会、副が新政クラブ。政令指定都市に関する特別委員会の正が新政クラブ、副が公明党。議会運営委員会の正が新政クラブ、副が公明党。

以上である。

○岸浪委員長 確認してもらった。

正副で競合しているところを探すと、正でいくと水源地域と基地対策、あとは競合しているところはない。まずここを調整して、副に移っていきたいと思うが、それでいいか。

○藤井委員 常任委員会は。

○岸浪委員長 常任委員会の正はない。

○藤井委員 正はないが……。

○岸浪委員長 民生委員会の正がなくて、あとは正でダブっているところはない。総務委員会の正が新政クラブ、環境経済委員会の正が公明党、

建設委員会、文教委員会の正が新政クラブということである。

進め方だが、正を決めて副を決めていく方がいいと思ったが、いかがか。

共産党。

○藤井委員 常任委員会、特別委員会の区別なく正からというやり方も一つだし、常任委員会の副で競合しているところがあるので、その辺をどう織り込むのかが、ちょっと気になった。まず、特別委員会の正をかためてやっていくなら、それでもいいと思うが、その辺どうなのか。

○岸浪委員長 今、とりあえず、各会派から出してもらったので、これを踏まえて、若干の修正があるところがあれば聞く。

民主クラブが常任委員会のポストを一つも出していないので、その分も含めて、これを踏まえて、各会派の意見をもらうことにする。

では、この場で5分間休憩ということで、45分に再開する。

午前10時40分 休憩

午前11時00分 開議

○岸浪委員長 再開する。

総務委員会の正が新政クラブ、副が共産党。民生委員会の正が無所属クラブ、副が創史会。環境経済委員会の正が公明党、副が市民連合。建設委員会の正が新政クラブ、副が公明党。文教委員会の正が新政クラブ、副が市民連合。

基地対策特別委員会の正が新政クラブ、副が共産党。交通問題特別委員会の正が民主クラブ、副が創史会。産業集積対策特別委員会の正が公明党、副が市民連合。水源地域対策特別委員会の正が民主クラブ、副が新政クラブ。政令指定都市に関する特別委員会の正が新政クラブ、副が公明党。

以上である。

○藤井委員 議運はいいのか。

○岸浪委員長 議運の関係については、議長、副議長が選挙になっているので、皆さんから意見をもらいたい。

共産党。

○藤井委員 確かに、副委員長は副議長をやっている会派を出すという意見があったことはあったが、それが議会全体の確認とは私は理解して

いない。いろいろな思いがあると思うので、それはそれでいいと思うが、私は、別にほかに希望がないなら、それで決まるなら決めておいて、別に連動させる必要はないと思っている。

○岸浪委員長 共産党から議運の正副の話が出たが、結果的には、いろいろ確認だの議論はされてきていると思うが、当日、選挙があつて、選挙結果というわけにはいかないから、この場で確認しなければいけないと思う。要望する会派から手を挙げてもらうか。

今、要望は、新政クラブが正、公明党が副となっているが、これも含めて確認していいか。――

ありがとうございました。

今、お手元に常任委員会の構成を書き込む一覧表の用紙を配っている。構成の定数についてはどうするか。

新政クラブ。

○中村委員 まず、各会派に各常任委員会委員の要求数を出してもらって、その後の調整で定数を決めていくやり方はどうかと思う。

○岸浪委員長 新政クラブから、そういう形でどうかという話があつたが、今までも、そういう形で決めてきたと記憶している。

それでは、各会派持ち帰って、各常任委員会の構成について、休憩中に協議して、再度持ち寄る形にしたいと思うが、どれぐらいの時間にするか。

○藤井委員 ほかの議題は、もういいのか。

○岸浪委員長 今後の進め方だが、常任委員会の構成を決めてもらった後、特別委員会の変更があるかないかの確認をして、ある場合は、それも確認する。それから、附属機関等の協議になる。一応、大きなテーマはこういう形になるが、最終的に、明日の臨時会の進め方については、事務局から再度説明してもらう。

○藤井委員 附属機関は何を協議するのか。

○岸浪委員長 各会派の所属の定員の変更があるので、それについて名前を出してもらう。

○藤井委員 協議するわけではないだろう。

○岸浪委員長 各会派でふえているところと減っているところがあるので、そのことについて。協議はない。

休憩する。

午前 11 時 07 分 休憩

午前 11 時 12 分 開議

○岸浪委員長 再開する。

今、共産党から、総計審のことも含めて指摘があったが、この関係について、もう少し確認することが生じたので確認したいと思う。

再開して、常任委員会のメンバーの確認を済ませて、特別委員会の移動があったら済ませて、その後に、附属機関の関係については、もう一度、協議してもらおうという確認をしたいと思う。

共産党。

○藤井委員 仮に総合計画審議会が答申までで一応区切られる場合に、附属機関全体の 5 つの委員の交代をそこにずらすということは、議会と各附属機関との関係で問題はないのか。いつもは 5 月臨時議会で 2 年に 1 回変えていたものを時期がずれるということについては。

○岸浪委員長 民生委員推薦会から表彰審査委員会の任期の関係について。

議事調査課長。

○佐藤議事調査課長 例えば 5 月臨時会までが議員の任期ということではなくて、各審議会委員はそれぞれの任期を持っていて、議会の整理の仕方として 2 年に一度見直しをするので、このまま引き続いて委員として終了していくこと自体は、特に問題ないと考えている。

○岸浪委員長 無所属クラブ。

○東條委員 皆さんの了解を得られればだが、総合計画審議会は会議があと 2 回ほどで、その後は答申の段階に入ってしまうので、ここは除いてドントでやるという方向もありという気はするが、いかがか。

○岸浪委員長 それをやるにしても、例えば、現行の審議会に入っている議員は、任期最後まで務めることが大前提になってくる。

○東條委員 それは総計審だけ。

○岸浪委員長 ここで決めるのは、総計審を除いた中でのドントと。
では、そのことも含めて、再開して、後で決めてもらうことにする。

新政クラブ。

○中村委員 再開したときに、持ち帰って協議してくる内容について、再度、確認だけお願いします。

○岸浪委員長 常任委員会の委員、各会派どこに所属するかを決めてもらうこと。それを持ち寄って、定数を決めながら、最終の構成を決めていくことになる。

特別委員会の関係だが、辞任、選任の移動の関係、正副委員長がかわるから、移動があれば報告してもらう。

議会選出はいろいろ課題がありそうだが、今指摘された、あるいは課題として提起された問題について、それぞれ各会派で協議をしてもらう。そんなことでいいか。――

休憩時間はどれくらいにするか。――

では、１時１０分再開ということで休憩する。

午前１１時１９分 休憩

午後 １時１０分 開議

○岸浪委員長 再開する。

休憩前に引き続き、協議をお願いします。

常任委員会の委員構成だが、定数を確認していくということで、前回だと、総務が１１、民生が１１、環境経済、建設、文教、それぞれ１０ということで定数を決めているが、各会派から、とりあえず構成メンバーの数を出してもらって、その合計を出して調整していくという段取りでいきたいと思う。

新政クラブ。

○阿部委員 総務が４、民生以下、全部３である。

○岸浪委員長 公明党。

○加藤委員 総務が２、民生が１、環境経済、建設がそれぞれ２、文教が１。

○岸浪委員長 民主クラブ。

○小池委員 総務が２、民生が２、環境経済が１、建設が２、文教が１。

- 岸浪委員長 無所属クラブ。
- 東條委員 環境経済が2で、あとは1である。
- 岸浪委員長 市民連合。
- 森委員 オール1で。
- 岸浪委員長 共産党。
- 藤井委員 総務1、民生1、建設1、文教1。
- 岸浪委員長 創史会。
- 古内委員 建設だけなしで、全部1である。
- 岸浪委員長 無所属の小林正明議員の関係について。
議事調査課長。
- 佐藤議事調査課長 無所属の小林正明議員に常任委員会の意向を確認したところ、民生委員会が第一希望と伺っている。
- 岸浪委員長 総務が12、民生が10プラス1、環境経済が10、建設が10、文教が9となった。
調整はなかなか難しいと思うが、名案があったら。
- 阿部委員 持ち帰って、人数2人以上出しているところで調整させてもらえれば。
- 藤井委員 これはこれで置いておいて、ほかのことをやってからではダメなのか。
- 岸浪委員長 今、共産党から、これはこれとして、ほかのものという意見があるが、そちらへ進めていっていいか。――
ありがとうございます。
- 次に、特別委員会の関係だが、まず、移動のあるところを出してもらいたい。
新政クラブ。
- 阿部委員 議長が辞職を出した関係で、久保田隼夫委員を基地対策特別委員会から交通問題特別委員会に移動、1つあいたところに稲垣議員が入る。
- 岸浪委員長 公明党。
- 加藤委員 基地対策が菅原議員にかわって栄議員、交通問題が関山議員にかわって大上議員、産業集積が加藤、プラス関山議員がこちらに移

動して、水源地域は小林一郎議員である。

○岸浪委員長 民主クラブ。

○小池委員 基地対策特別委員会の山下議員が産業集積に移る。

○岸浪委員長 無所属クラブ。

○東條委員 栗原議員が水源対策、野元議員が交通問題——でも、これ、2人入っているところにしか移動ができないという話か。

○阿部委員 基本的には定数が決まっているから、人数は変わらない。

○東條委員 そうすると、産業集積がいなくなっているから、私が産業集積に行く。

○岸浪委員長 市民連合。

○森委員 基地対策はそのまま、交通問題に二木議員にかわって私、産業集積に私にかわって岩本議員、水源地に岩本議員にかわって二木議員が入る。

○岸浪委員長 共産党。

○藤井委員 基地対策に松永議員にかわって竹腰議員、交通問題に竹腰議員にかわって菅野議員、産業集積に私にかわって松永議員、水源地に私である。

○岸浪委員長 創史会。

○古内委員 基地対策が大槻議員、交通問題が私、産業集積が八木議員、水源地が河本議員である。

○阿部委員 定数が決まっているから、それはできないのではないか。

○岸浪委員長 一応出してもらったが、新政クラブから共産党までは、前回の所属議員数は変わらないで、名前だけ入れかえるという報告だった。創史会は前回、産業集積に3人入っていたが、大槻議員と古内議員がそれぞれ別の特別委員会にという話だった。定数が決まっている関係上、創史会から出された案について、皆さんでどうするかを確認してもらわないといけないが、いかがか。

市民連合。

○森委員 4年任期なので、その中でかわるのであれば、辞職を出して新しい名前をとということで先ほど確認してもらったが、期の途中で定数も変えられるのか。創史会のバランスからいうと、3人同じ委員会という

のは少しかわいそうな気もするので、事務局、その辺どうなのか。

○岸浪委員長 議事調査課長。

○佐藤議事調査課長 委員会定数そのものは議会の議決で決めているので、必要に応じて、定数を変えるということであれば、再度、議会に提案してもらって、議決要件となる。

○藤井委員 その前に、とりあえず今出たのを全部合計して、数を確認したらどうか。

○岸浪委員長 では、もう一度、整理する。

基地対策は、石川議員、沼倉議員、久保田義則議員、稲垣議員、山崎議員、栄議員、落合議員、角尾議員、西村議員、江成議員、金子議員、竹腰議員、大槻議員の13名。

交通問題は、寺田議員、中村議員、須田議員、久保田隼夫議員、米山議員、大上議員、小林教利議員、大沢議員、長友議員、野元議員、森議員、菅野議員、古内議員の13名。

産業集積は、佐藤議員、折笠議員、溝渕議員、加藤議員、関山議員、小池議員、山下議員、池谷議員、東條議員、岩本議員、松永議員、八木議員の12名。

水源地域は、小野沢議員、大神田議員、阿部議員、山岸議員、小林一郎議員、渡辺議員、吉田議員、栗原議員、二木議員、藤井議員、河本議員、小林正明議員の12名。

○中村委員 交通が一つふえて、水源が一つ減っている。

○岸浪委員長 市民連合。

○森委員 今の人数でいくと交通が13で水源が12なので、議会の議決で定数を変えないでそのままやるとすれば、交通から水源へだれか1人動いてもらえれば何ら問題はないと思うが、動けるところがあれば、話し合いをした方がいいのではないか。

○岸浪委員長 いかがか。

新政クラブ。

○阿部委員 基本的には、議員の任期の間、特別委員会の任期ということなので、定数をどんどん変えていくのもどうかというものもある。うちも持ち帰らせてもらえれば検討するが、皆さんも検討できる場所があれば

ば。

○岸浪委員長　　今、交通と水源の関係で新政クラブから持ち帰りという話があったが、では、この件についても、持ち帰って協議してもらう。

○中村委員　　済まない、もう一度、交通問題と水源地域について、人の名前を再確認したい。事務局からお願いしたい。

○岸浪委員長　　議事調査課長。

○佐藤議事調査課長　　交通問題特別委員会は、新政クラブは寺田議員、中村議員、須田議員、岸浪議員、久保田隼夫議員。公明党は米山議員、大上議員。民主クラブは小林教利議員、大沢議員。無所属クラブは長友議員、野元議員。市民連合は森議員。共産党は菅野議員。創史会は古内議員。

水源地域対策特別委員会は、新政クラブは小野沢議員、大神田議員、阿部議員、山岸議員。公明党は小林一郎議員。民主クラブは渡辺議員、吉田議員。無所属クラブは栗原議員。市民連合は二木議員。共産党は藤井議員。創史会は河本議員。無所属の小林正明議員。

以上である。

○岸浪委員長　　共産党。

○藤井委員　　今さら言うのもおかしいが、議事日程上、初日に資料2でもらった中で、特別委員の選任はもともととは載っていないし、議長、副議長が投票選挙ということになって、議長、副議長の辞任ということ日程の追加になっていくと思うが、やはり流れ上、正副議長選挙が終わった後に議運を開いて、特別委員会委員の所属を変えるなら変えるということを確認して、また本会議に戻す、これが真っ当なやり方ではないか。

○岸浪委員長　　今、共産党から、議事日程の関係と特別委員会の選任のあり方について発言があったが、やはり、ここを少し議論しておかないと、なかなか難しい部分があるのかなと。今の報告を見てもそうだが、ほかの会派の皆さん、意見があったらお願いします。

新政クラブ。

○阿部委員　　新政クラブとしては、正副議長選挙の中で、こういうのをやるのはどうかという意見は正論だと思うが、ただ、見越しながらでもできる議論、こうして人の名前も人数も入れてきているので——どうしてもできないということになってしまえば仕方がないが、ぜひ、できる限り進

めてもらいたい。

議事日程案はもらっているが、やはり議長、副議長が特別委員会に入らないということで、どこでそれを行って、その後の特別委員会の人事とかはあるのかというのは、日程を考えるのは別途必要だと思うが、それまでの議運での調整は、新しい議運になってしまうというタイミングもあると思うので、ぜひ、このまま進められる限り進めて詰めてほしい。

○岸浪委員長 ほかに、ほかの会派の皆さんから。

共産党。

○藤井委員 もしそういうことでやるとすると、私どもは議長になることを表明しているの、結果によっては、ここで出したものを辞退する、後になってそういう事態になることも、可能性として皆さんに含んでおいてもらいたいということならいいと思う。

○岸浪委員長 ほかに何か意見があるか。

公明党。

○加藤委員 意見ではないが、今、藤井委員が言われたのは、当然、そういう可能性はあるということ。ただ、私どもとしては、先ほど新政クラブが言ったような形で、それを含めて、現段階でできる部分については、作業を進めてもらえればと思う。

○岸浪委員長 ほかに。――

詰める部分は詰めておくということと、今回、正副議長選挙となっているので、正副議長選挙と特別委員会の人選のあり方をどうするかと今二つ提起されており、議事日程の確認でいけば、事務局から提案した中で、すべての役職が決まった後に正副議長の選挙が行われたという話もあった。ただ、今回は正副議長の選挙の影響によっては、議運をもう1回開催して、特別委員会の変更があった場合には、また本会議を開催して確認するという流れになってしまう。それはそれでいいと思うが、ただ、ほかにもやり方はあるだろうという中で、今まで何か方法があったと思うが、正副議長の選挙と日程の順番についてを少し整理しておいた方がいいと思うが。

共産党。

○藤井委員 資料2の議事日程1から9までである中で、議長の選挙が日程に追加されるとすると、4の常任委員会委員の選任、5の議会運営委

員会委員の選任、これとの関係ではどの辺に入るのか。

○岸浪委員長 議事調査課長。

○佐藤議事調査課長 今までの例で言うと、追加日程として議会運営委員会委員の選任の後に、特別委員会委員の辞任、選任が入ってくる。ここで常任委員会、議会運営委員会、特別委員会の各委員がそろったので、休憩して各委員会を開催し、正副委員長の互選をしてもらう。互選が終わったら本会議を再開して、各正副委員長の報告、その後に監査委員の選任、農業委員会委員の推薦、議長の辞職、選挙、副議長の辞職、選挙という流れになるので、正副議長選挙が一番最後になる。

○岸浪委員長 例えば、選挙後の初議会のときは、一番最初に議長の選挙をすることになっている。今回の場合は、通例だと一番最後に正副議長選挙を持ってきているが、これを動かすことについて、何か見解があるか。

議事調査課長。

○佐藤議事調査課長 いずれにしても、議長は基本的には4年間の議員の任期ということで、辞職行為があつて初めて選挙ということになるので、日程的には最初からなく、追加日程となる。その追加日程をどこに入れるかという問題なので、全部の議事が終わった後に正副議長選挙をやるのが今までの通例だったが、逆に、もっと早目に入れることは可能だと理解している。

○岸浪委員長 今の見解も踏まえて、何か発言があつたらお願いします。
市民連合。

○森委員 今までの例でいくと、現議長がすべての議事をさばいて、最後に辞職して新しい議長というやり方だが、今回、最初に議長選をやってしまうと、その後の議事は新しい議長でさばかなければいけないという流れになるわけか。

○岸浪委員長 議事調査課長。

○佐藤議事調査課長 新たに議長が選任されることになると、それ以後は、新しい議長が議事進行を務めることになる。

○岸浪委員長 新政クラブ。

○阿部委員 議案は議長選挙の前ということで、終わってから議長選

挙を行って、新しい議長で今の人事の部分を進めてもらえれば、特別委員会の部分もすっきりすると思う。新政クラブとしては、委員長の選任の前でいいのではないかなと思う。

○岸浪委員長 議案第62号の補正予算終了後に議長選挙に入るという意見が出された。いかがか。

公明党。

○加藤委員 先ほどの課長の説明で、特にどういう順番でというのはないという話があったので、私どもも、今、新政クラブが言ったような順番でいいと思う。

○岸浪委員長 ほかに、この件についていかがか。

市民連合。

○森委員 私どもも、今回、指名推選ではないので、そういった形で、すっきりさせた方がいいのではないかなと思う。

○岸浪委員長 おおよその意見は、議事日程と特別委員会の委員の選任の絡みの関係で考えていくと、議案第62号が終了した時点で、議長、副議長選挙に入る。それ以降についてはこの流れでいくことにすれば、特別委員会の関係について、今の問題はクリアできると思うが、日程の関係については、そういう流れでやっていくか。――

では、日程については、そういう形で進める。

特別委員会の関係だが、それを踏まえて、最小限、影響のない部分まで進めるということで、先ほど持ち帰った部分があるので、それを踏まえて会派で協議してもらって、再度、持ち寄って報告してもらおう。

続いて、附属機関の関係に行く。宿題になっていた総合計画審議会の関係について。

議事調査課長。

○佐藤議事調査課長 総合計画審議会だが、任期は2年と決まっています、ことしの7月30日までと伺っている。総合計画審議会に委員を選出するに当たって、経過としては、市長部局から議会としてどうするかという投げかけがあり、議会としても参加したいという経過で委員の選出をしている。

○岸浪委員長 総合計画審議会のことも踏まえて、議会選出附属機関

委員の会派別人数割り当てについて意見をもらいたい。

市民連合。

○森委員 先ほどの最後の案のところで、総合計画審議会の委員を除いてドントでやろうという案も出ていたが、私ども、前回、総合計画審議会に入っていないくて、それを合わせて2をもらっている会派もいるし、私どもはそれを除いて2をもらっているの、それを除いてドントでやると、もともと枠のないところから減らされてしまうという感じを受けるので、少し考えてもらいたい点と、どうしてもそれを除いてドントの方がすっきりするということであれば、できれば枠の希望を出せればと思っている。

○岸浪委員長 共産党。

○藤井委員 今のような意見なり心情なりがあると、全部そろえてやるのが一番すっきりするが、それでいいのかどうかというのが、ちょっと難しいところだと思う。

○岸浪委員長 今、総合計画を除外するか入れ込むかという議論になっているが、このドントは、もちろん入れ込んだ方がいいが、入れ込まなかったらどうなるか。

新政クラブ。

○阿部委員 新政クラブとしては、あくまで7月までの部分で、このメンバーでやった方が話的にもすっきりという認識である。特別な状況だと思ひ、市民連合が入っていないという意見は理解できるので、そういう状況は頭の片隅に置きながら、やはり、総合計画審議会を外した形でドントでやってもらう方が、すっきりするし、わかりやすいという認識でいるので、そういう形でやってもらいたい。

○岸浪委員長 その辺が読めないと話ができないので、ドントの状況がどうなるかを事務局から出してもらっていいか。

では準備はしているので、事務局から、総合計画審議会を外したドントの一覧表を配ってもらう。

これでいくと、新政クラブが3、公明党、民主クラブがそれぞれ1名増ということで、調整して、どちらかが2名。無所属クラブ1、市民連合1、共産党1、創史会1、こういうドントになっている。

先ほど市民連合から話があったが、結果的に総合計画審議会に市民連合

が入っていないが、全体としては、前回は無所属クラブが2、市民連合が2、一応そういう割り振りになっていて、どこのポジションをとるかによって、その辺の形が変わってきている。総計審も7月末で最後の最後の段階だから、向こう2年間のことを考えていけば、総合計画審議会を外していくというふうな附属機関の委員のあり方というか。

いかがか。

市民連合。

○森委員 その考え方はわかった、納得する。これから中身の議論を建設的にやってもらいたいので、ぜひ配慮してもらえればと思う。

○岸浪委員長 では、議会選出附属機関委員の関係については、総合計画審議会を除いた形のドントで行うことにする。

今の段階で要望の数は出せるか。

民主クラブ。

○小池委員 うちと公明党でどちらが1になるかという話し合いもしなければならぬので、まだ決められない。

○岸浪委員長 民主クラブからそういう意見があったので、これについても調整してもらって、数を持ち寄って協議願いたい。

では、これからの進め方は、最終的な名前を出してもらって、確認までがきょうの仕事で、少し時間がかかるかもしれないが、よろしく願いたい。

新政クラブ。

○阿部委員 持ち帰って調整を行うが、事務局で、現状の特別委員会の人の名前が入ったものはできるか。

○岸浪委員長 議事調査課長。

○佐藤議事調査課長 今整理した段階での名簿が欲しいということか。

○阿部委員 そうすることである。

○佐藤議事調査課長 では、早速整理して、皆さんに配る。

○岸浪委員長 共産党。

○藤井委員 特別委員会の新しい名簿については、先ほどの正副議長の投票選挙との関係で、議運で正式に確認するのは、何であっても選挙の後でなければおかしい。だから、本当にそれは内々のメモというか、そこ

に名前を出す出さないは、選挙に臨む会派のそれぞれの思惑というか、考え方でしかなくて、全く正式なものではないというふうにしてもらわないと。

○岸浪委員長 これはあくまでも最終調整の影響が一番少ないことを見越して名前を出してもらうということで、あしたのことを考えれば、正副議長が終わった段階で議運を開催して、特別委員会の選任にかかわる議運の開催という形になる。

では、時間はどれくらいにするか。――

では、2時45分再開ということで休憩する。

午後1時56分 休憩

午後2時45分 開議

○岸浪委員長 再開する。

まず、常任委員会の構成からいくが、関係するところ。

民主クラブ。

○小池委員 定数を変更したいと思う。総務委員会にという主張だったが、総務委員会を1、文教委員会が1だったのを2に変えてもらえればと思う。

○岸浪委員長 そうすると、総務委員会が11、文教委員会が10、民生委員会が11、環境経済委員会が10、建設委員会が10となる。それでいいか。――

ありがとうございました。

特別委員会だが、お手元に配った内容は、すべて数字で示した。きょうの議運では名前については確認しないことを前もって話しておく。名前については、常任委員会と特別委員会は議運が終わったら速やかに出してもらいたい。常任委員会は後ほど最終的に議運で氏名を確認するが、特別委員会は、この議運では名前は確認しない。最終的な名前の確認は、明日の正副議長の選挙が終わった後に議運を開催し、確認という運びになる。

特別委員会の人数だが、関係する会派の報告をお願いする。

新政クラブ。

○阿部委員 交通問題が5になっているが、メモという話だったので、

4 ということでお願いします。

○岸浪委員長 無所属クラブ。

○東條委員 無所属クラブは調整の中に入っていたかどうかかわからないが、交通問題を1、水源地域対策を2に変更する。

○岸浪委員長 そうすると、基地が13で13、交通問題が12で12、産業集積が12で12、水源が13で13となる。

政令指定都市に関する特別委員会については、前回示した資料の中で、定数14だが、ドントで変わっている数字が、民主クラブが2、相模原市民連合が2となるので、確認してもらいたい。新政クラブが4、公明党が2、民主クラブが2、無所属クラブが2、市民連合が2、共産党が1、創史会が1で14。

この関係について、いいか。

市民連合。

○森委員 これも氏名はあしたでいいのか。

○岸浪委員長 氏名は速やかにお願いします。

議運の関係だが、定数11ということで、ドントによって、この割り振りの人数になる。

続いて、附属機関に行く。

それでは、新政クラブからお願いします。

○阿部委員 青少年問題協議会1名、都市計画審議会2名、以上である。

○岸浪委員長 公明党。

○加藤委員 民主クラブと打ち合わせて調整した結果も踏まえたもので、民生委員推薦会1名、都市計画審議会1名である。

○岸浪委員長 民主クラブ。

○小池委員 青少年問題協議会1。

○岸浪委員長 無所属クラブ。

○東條委員 都市計画審議会1である。

○岸浪委員長 市民連合。

○森委員 都市計画審議会1である。

○岸浪委員長 共産党。

○藤井委員 社会福祉審議会 1 である。

○岸浪委員長 創史会。

○古内委員 青少年問題協議会 1、お願いします。

○岸浪委員長 そうすると、民生が 2 に対して 1、青少年が 2 に対して 3、都市計画が 4 に対して 5、社会福祉審議会が 1 に対して 1、表彰審査会がゼロとなった。

今報告してもらったことを踏まえて、それぞれの会派から何か発言があったらお願いします。――

休憩する。

午後 2 時 5 2 分 休憩

午後 3 時 0 0 分 開議

○岸浪委員長 再開する。

都市計画関係は、後ほど該当する会派に集まってもらって調整してもらうことにする。

移動のあった創史会が青少年問題協議会を民生推薦委員会に変更するということを一応確認させてもらう。

それでは、議会選出協議会委員、役員の関係について、新政クラブからお願いします。

○阿部委員 基地が 4、公共交通が 3。理事が 2、監事 1 という形で 3。

○岸浪委員長 公明党。

○加藤委員 基地が 1、公共交通が 2。

○岸浪委員長 民主クラブ。

○小池委員 基地が 2、公共交通が 1。

○岸浪委員長 無所属クラブ。

○東條委員 1、1 である。

○岸浪委員長 市民連合。

○森委員 1、1 で。

○岸浪委員長 新政クラブ。

○阿部委員 新政クラブの数字でまとまるのなら、基地を 3 にして、

公共交通を理事 3、監事 1 という数字でお願いする。

○岸浪委員長 新政クラブが市民協 3、公共交通 4、理事を含み 1、3 と 1 となる。そうすると 10 と 11 ということで、これは数字がまとまった。

では、この関係についてはいいか。――

それでは、議会選出附属機関関係の都市計画審議会のところ調整が必要になったので休憩する。

どれくらいの時間が必要か。――

20 分再開ということでお願いする。

なお、先ほど、氏名の提出について速やかにということだったが、出せるところがあったら、順次、事務局に提出してもらいたい。

なお、これからの議運の進め方だが、全部調って終わった段階で名前を事務局に出してもらって、それを事務局で全部整理して、議運を開いて最終確認をする運びになる。なお、事務局から、最終確認をするのに 2 時間程度もらいたいという話だが、なるべく早く、さらに短くするように努力をお願いするが、いいか。

それでは休憩する。――

午後 3 時 05 分 休憩

午後 3 時 22 分 開議

○岸浪委員長 再開する。

都市計画審議会関係の協議経過について、報告をお願いする。

無所属クラブ。

○東條委員 無所属クラブは表彰審査委員会に移る。

○岸浪委員長 それでは、無所属クラブが表彰審査委員会に移るということで、民生委員推薦会が公明党と創史会、青少年問題協議会が新政クラブと民主クラブ、都市計画審議会が新政クラブ 2、公明党 1、相模原市民連合 1、社会福祉審議会が日本共産党、表彰審査委員会が無所属クラブということで確認してもらいたい。

役職については、ここですべて確認してもらったが、以後の事務手続を含めて、事務局から話をしてもらえればと思う。

議事調査課長。

○佐藤議事調査課長 いろいろと協議してもらって役職が全部決まったので、今後は、具体的に名前を出してもらいたい。名前を出してもらったら、それを事務局で整理して、もう一度、議運を開催して、皆様に確認をお願いしたい。

事務局としては、３時半ぐらいまでに出してもらえれば５時半ぐらいにはできると考えていたが、若干おくられている。なるべく早く開催できるように努力するが、おおむね、先ほど言った時間をめどをお願いしたい。

○岸浪委員長 よろしく願います。

それから、県の後期高齢者医療広域連合議会議員の関係について、事務局から説明が……。

○中村委員 前に議長の当て職ということで聞いている。

○岸浪委員長 議長の当て職だが、任期の関係で、現議長の取り扱いをどうするかということが発生しており、事務局から説明をお願いします。

議事調査課長。

○佐藤議事調査課長 神奈川県後期高齢者医療広域連合議会議員は、議長の当て職ということで確認してもらっているが、議員の任期は１年、毎年７月１日から翌年６月３０日までとなっている。本議会からは１名選出するというので、議長を当て職ということで指名推選の方法により選挙しているが、今回の臨時会で議長が辞任の意向を示され、明日、５月２０日の臨時会で議長選が行われて、新たな議長が選出される。本来だと、当て職なので、新たに選出された議長が広域連合議会議員になるのが一般的かと思うが、そうすると、その選挙をしなければいけないということと、広域連合議会議員に変更するという手続があって、広域連合議会議員の方でも、また、その変更の手続がある。任期が６月３０日までなので、引き続き、現稲垣広域連合議会議員に満了の６月３０日まで務めてもらって、７月１日の新たな任期は新たに議長になる方の当て職ということで、６月議会で選出の選挙をしてもらうことで確認をもらえればと思っているので、協議をお願いします。

現在、広域連合議会議員として選出されている稲垣議員は、広域連合議会の議会運営委員会委員長職も務めており、実際には広域連合議会は８月

と3月が会議の時期なので、6月30日までの任期の間には、特に、これといった会議、用務はないと確認している。また、他の市町村を確認したところ、やはりこういう状況が生じた場合は、任期まで務めてもらって、7月1日の新たな任期から新しい議員にという対応をしているので、本市議会も、そのような対応をお願いできればと考えている。

○岸浪委員長 今説明してもらったが、いいか。――

では、そのようにさせてもらう。

先ほど確認してもらった資料10の関係を今配っている。それでは、これからそれぞれの会派に名簿を提出してもらって、集まってもらうが、時間は追って連絡する。なお、最終確認として名前の確認、それから、明日の議会運営の流れについて、改めて確認してもらおう。

休憩する。

午後3時30分 休憩

午後5時20分 開議

○岸浪委員長 再開する。

5月臨時会の運営について、事務局から説明させる。

議事調査課長。

○佐藤議事調査課長 資料に基づいて説明する。先ほど来、協議してもらった結果として、そこに記載している。

資料1は役職一覧で、監査委員、新政クラブ久保田隼夫議員、民主クラブ小池議員。東農業委員会、新政クラブ小野沢議員、無所属クラブ東條議員、市民連合岩本議員。西農業委員会、新政クラブ大神田議員、共産党松永議員、創史会河本議員。

常任委員会だが、総務委員会正が新政クラブ阿部議員、副が共産党藤井議員。民生委員会正が無所属クラブ池谷議員、副が創史会河本議員。環境経済委員会正が公明党栄議員、副が市民連合二木議員。建設委員会正が新政クラブ沼倉議員、副が公明党山崎議員。文教委員会正が新政クラブ寺田議員、副が市民連合森議員。

特別委員会は、まだここに氏名を書ける状況にないということなので、丸印で表示している。基地対策特別委員会正が新政クラブ、副が共産党。

交通問題特別委員会正が民主クラブ、副が創史会。産業集積特別委員会正が公明党、副が市民連合。水源地域対策特別委員会正が民主クラブ、副が新政クラブ。政令指定都市に関する特別委員会正が新政クラブ、副が公明党。

議会運営委員会は、正が新政クラブ中村議員、副が公明党米山議員。

資料１は以上である。

資料２をごらんいただきたい。常任委員会一覧だが、総務委員会、新政クラブ阿部議員、久保田隼夫議員、岸浪議員、久保田義則議員、公明党菅原議員、小林議員、民主クラブ角尾議員、無所属クラブ東條議員、市民連合江成議員、共産党藤井議員、創史会大槻議員。

民生委員会、新政クラブ石川議員、大神田議員、稲垣議員、公明党米山議員、民主クラブ渡辺議員、山下議員、無所属クラブ池谷議員、市民連合金子議員、共産党菅野議員、創史会河本議員、無所属小林正明議員。

環境経済委員会、新政クラブ小野沢議員、須田議員、佐藤議員、公明党栄議員、加藤議員、民主クラブ小池議員、無所属クラブ野元議員、栗原議員、市民連合二木議員、創史会古内議員。

建設委員会、新政クラブ中村議員、沼倉議員、山岸議員、公明党大上議員、山崎議員、民主クラブ小林教利議員、落合議員、無所属クラブ長友議員、市民連合岩本議員、共産党松永議員。

文教委員会、新政クラブ寺田議員、折笠議員、溝渕議員、公明党関山議員、民主クラブ吉田議員、大沢議員、無所属クラブ西村議員、市民連合森議員、共産党竹腰議員、創史会八木議員。

常任委員会については以上である。

資料３、議会運営委員会だが、新政クラブ阿部議員、中村議員、須田議員、公明党加藤議員、米山議員、民主クラブ大沢議員、角尾議員、無所属クラブ東條議員、市民連合二木議員、共産党藤井議員、創史会古内議員。

以上である。

資料４、特別委員会委員だが、まだここに名前を記載することはできないので、先ほど確認してもらったとおり、数字で確認する。基地対策特別委員会、新政クラブ４、公明党２、民主クラブ２、無所属クラブ１、市民連合２、共産党１、創史会１、合計１３である。

交通問題特別委員会、新政クラブ 4、公明党 2、民主クラブ 2、無所属クラブ 1、市民連合 1、共産党 1、創史会 1、合計 12 である。

産業集積対策特別委員会、新政クラブ 3、公明党 2、民主クラブ 2、無所属クラブ 2、市民連合 1、共産党 1、創史会 1、合計 12 である。

水源地域対策特別委員会、新政クラブ 4、公明党 1、民主クラブ 2、無所属クラブ 2、市民連合 1、共産党 1、創史会 1、無所属議員 1、合計 13 である。

政令指定都市に関する特別委員会、新政クラブ 4、公明党 2、民主クラブ 2、無所属クラブ 2、市民連合 2、共産党 1、創史会 1、合計 14 である。

資料 5 だが、明日の臨時会の流れについて説明する。前回の議運でも説明しているところがあり、重複するところがあると思うが、再度説明する。

9 時 30 分からの会議だが、理事者の紹介をする時間をとってもらうため、9 時 25 分議場集合でお願いする。開会前に職員紹介、これは 3 月定例会以後の議場出席者の異動にかかわるものである。

その次に開会して、会期の決定、会期は明日 1 日ということで議運で確認されている。

市長の招集あいさつが済んで、日程に入る。

日程 1 議席の変更については、前回の議運で確認してもらったとおりである。議長から議席の指定をし、議席を移動するために暫時休憩する。

再開後、日程 2 議案第 61 号専決処分の承認についてと日程 3 議案第 62 号平成 21 年度一般会計補正予算第 1 号、以上 2 件は一括上程である。説明の後、質疑、討論、採決、採決はおのこの区分して行う。

ここで追加日程に入る。議長選挙ということで、大上副議長に議長席に着いてもらい、議長の辞職の関係を諮る。この場合、議長は除斥の対象になる。

議長の辞職の承認が終わったら、追加日程で議長の選挙である。議長の選挙については、単記無記名投票である。

新たな議長が就任したら、あいさつをしてもらい、その後に議長席に着席してもらう。

その後に、副議長からの辞職が出され、副議長の辞職を日程に追加する。

その後に副議長の選挙と副議長の就任あいさつ。ここまで終わったら、前正副議長の退任あいさつをもらう。

ここで休憩をとって、議会運営委員会を開催するが、この議会運営委員会は、まだ新たな委員が選任されていないので、このメンバーでお願いしたい。

正副議長選挙に伴って、特別委員会委員の選出候補が変わってくることもあるので、確認したい。特にないということでも、改めて議運の中で確認する行為が必要なので、いずれにしても、議運は開催する。

議運が終わると再開で、日程4 常任委員の選任、日程5 議会運営委員の選任。

追加日程ということで、特別委員会委員の辞任、選任だが、これはどうなるかはこの時点では言えないので、細かい話はあしたの議運の中でしたいと思う。

裏面をごらんいただきたい。常任委員会、議会運営委員会、特別委員会委員の辞任と選任があり、そこで休憩し、休憩中に各常任委員会の正副委員長互選をお願いしたい。それから、4 特別委員会、これはどうなるかわからないが、正副委員長互選が必要ならば、やってもらう。それが終わったら議会運営委員会の正副委員長互選。特別委員会の開催状況は確定ではないというのは、開く必要があるのかないのかということは未定ということである。

再開して、正副委員長互選結果を報告してもらう。それが終わると追加日程で監査委員2件の一括上程である。これは市長提出議案なので、該当する議員は除斥になるので議場から出てもらう。2件一括上程だが、採決は区分して行う。

それが終わると、東西農業委員会委員の推薦2件を一括上程である。こちらも該当者は除斥になる。

ここまでで人事案件が終わって、日程6、7、8、9の専決処分の報告について説明をお願いし、臨時会は終了である。

終了後、議場内の写真撮影をし、議会だよりに掲載する。閉会后、その場で待機をお願いしたい。

補足事項ということで、1つ目として除斥について書いた。

2つ目としては、広域連合議会議員の関係だが、7月1日からの任期については、5月臨時会ではなく、6月定例会で選挙したいと考えている。

3の休憩の時間はおよそ1時間程度ではないかと推測されるということだが、各常任委員会、特別委員会、議運の正副委員長の互選ということである。委員会の時間そのものはそんなにかけないが、数がかなりあることと、この休憩中に監査、農業委員の離任式が行われる予定なので、おおよそ1時間程度ではないかという予想である。

4の議長、副議長の選挙は、いずれも投票により行うことが確認されているので、本会議場で立会人を3名指名するので、指名された方は願います。

重複するが、閉会后、議場での写真撮影がある。

6の閉会后に再度議会運営委員会を再開するという内容としては、6月定例会招集予定と6月1日の議会だよりの発行に関して、皆様に諮りたいが、明日最後の議運は新メンバーでお願いしたい。

○岸浪委員長 ただいまの説明に対して質疑等があったら願います。
公明党。

○加藤委員 およそ1時間程度の休憩中に監査、農業委員の離任式ということだが、これは常任委員会、特別委員会、政令市に関する特別委員会、議運を開催して、すべての正副委員長を互選した後に、監査、農業委員の離任式ということでいいのか。

○岸浪委員長 議事調査課長。

○佐藤議事調査課長 基本的にはそうなると思うが、時間を効率的に使いたいということになると、現監査委員、農業委員が所属している委員会が終われば、同時に進行することも考えられる。

○岸浪委員長 ほかに。――

ないようなので、確認してもらった。

次に、附属機関等の委員について、事務局から報告させる。

議事調査課長。

○佐藤議事調査課長 資料6をごらんいただきたい。先ほど報告があった委員を記載した表である。

まず上段の表だが、民生委員推薦会は公明党加藤議員、創史会河本議員。

青少年問題協議会は新政クラブ阿部議員、民主クラブ大沢議員。都市計画審議会は新政クラブ大神田議員、中村議員、公明党栄議員、市民連合金子議員。社会福祉審議会は共産党藤井議員。表彰審査委員会は無所属クラブ栗原議員。総合計画審議会の議会選出委員については変わらない。

下段の協議会だが、米軍基地返還促進市民協議会は理事１０ということで、新政クラブから石川議員、稲垣議員、久保田義則議員、公明党から山崎議員、民主クラブから山下議員、吉田議員、無所属クラブから西村議員、市民連合から金子議員、共産党から松永議員、創史会から大槻議員。

公共交通整備促進協議会は理事１０名、新政クラブ寺田議員、中村議員、久保田隼夫議員、監事１名については須田議員である。公明党の理事は栄議員、大上議員、民主クラブの理事は小林教利議員、無所属クラブの理事は野元議員、市民連合の理事は森議員、共産党の理事は菅野議員、創史会の理事は古内議員。

以上である。

○岸浪委員長 ただいまの説明に対して質疑等があったらお願いする。
いいか。――

それでは、その他について、何か全般的に発言があったらお願いする。
新政クラブ。

○中村委員 現在、この議運の間でも、男性議員はほとんど上着を脱いでいるような状態である。ここ二十七、八度ということで、暑い状況が続いているので、通常は６月議会ということだが、場合によっては、議長から、上着を着用しなくてもいいと言うことは可能なのか。

○岸浪委員長 上着の着用について、臨時議会からという話があったが、皆さん、いかがか。

事務局、何かあるか。

議事調査課長。

○佐藤議事調査課長 議長がそういう発言をすれば、手続上は特に問題ない。先の話だが、６月定例会からはネクタイ、上着の着用は要らないということなので、５月２９日の６月定例会初日はエコルックで結構である。

○岸浪委員長 今、新政クラブから上着の件について話があったが、

議運の場で確認しながら、取り扱いについて決めていくことにしたいと思う。ことしは非常に暑いということなので、いかがか。――

では、上着については臨時会から着用しなくてもいいという方向で……。

○中村委員 写真撮影があるので、ネクタイは。

○岸浪委員長 最後の写真のときはどうするか。――

では、最後の写真は略式ではなく正装ということにする。

では、明日はそのようなことで対応していくので、願います。

ほかにあるか。――

ないので、以上で議会運営委員会を閉会する。

今回は5月11日から議席の変更から始まった。さらに5月13日から5月臨時議会の運営について、本当に長い間、皆さんに大変な尽力と努力と心労を煩わせたが、大変な支援と協力をもらった。正副委員長ともども、皆さんの温かい心に感謝する。

以上で議会運営委員会を閉会する。

午後5時42分 閉会